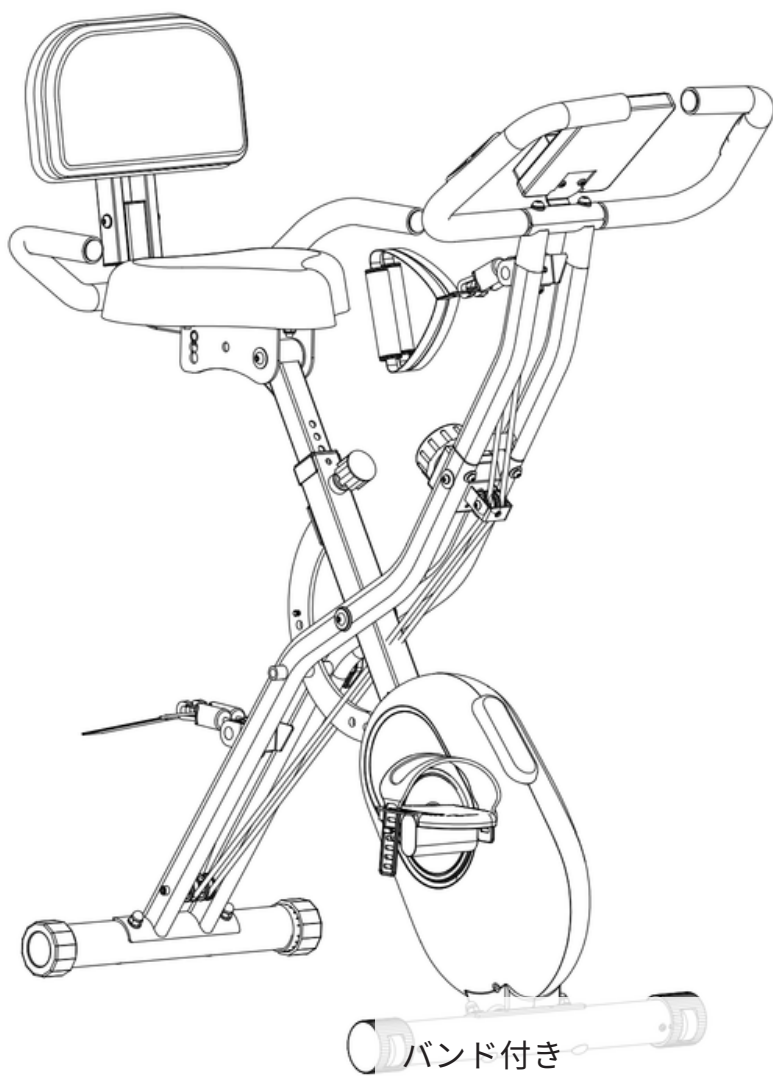


STEADY



バンド付き フィットネスバイク 取扱説明書

組立て動画



STEADY バンド付きフィットネスバイク 組立て動画



安全にご使用いただくために

この取扱説明書は大切に保管してください。

この度は「バンド付きフィットネスバイク」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

警告

1. 取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上でご使用ください。安全にご使用いただくために、掲載の組立て手順に沿って組立て、記載内容を守り、自己責任のもとでトレーニングを行ってください。本書記載の項目および注意事項を厳守されずにご使用されて生じた、いかなる事故につきましても、弊社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 定期的に本製品の点検を行い、摩耗や損傷がないかご確認ください。
3. 取扱説明書の指示内容を守ってご使用ください。本製品の組立て時・点検時・ご使用中に異常が見つかった場合は、直ちに使用を中断してください。これら異常について修理、改善されるまではご使用をお控えください。

安全上の注意事項

1. 本製品をご使用になる前に、次に該当する場合は、使用前に必ず医師にご相談ください。医師の治療を受けている方 / 安全な使用に支障をきたす可能性のある方 / 心拍数、血圧、コレステロール値に影響する投薬を受けている方 / 健康状態に異常を感じている方
2. 次のような症状が出た場合は、運動を中止し、医師にご相談ください。体の痛み / 胸部の圧迫感 / 動悸 / 息切れ / めまい / 吐き気
3. 小さなお子様やペットのいる場所でのトレーニングはお避けください。
4. 製品の仕様を理解した上で安全にご使用いただけない場合、事故や怪我を引き起こす可能性があるため、16歳未満の方は本製品の使用をお控えください。
5. 本製品の使用は健康な方を対象としています。治療目的としてのご使用には適しません。
6. 本製品の耐荷重は**最大120kg**です。
7. 本製品の連続使用時間は**最大120分**です。120分を経過した場合は、使用と同程度の時間、製品を使用せずクールダウンの時間を設けてください。過度の使用は製品の故障や劣化の原因となります。

組立て前の注意事項

1. 組立ての際は十分な場所を確保し、製品本体から少なくとも50cmの可動域が確保できる、水平な床の上に置くようにしてください。床の凹みや傷を防止するため、組立て時は床へマットなどを敷き、その上で作業してください。
2. 本製品の組立てや持ち運びの際に、製品に手や指を挟まないようご注意ください。
3. 本製品を持ち上げたり移動させたりする場合は、腰痛を引き起こす原因となる場合があるため、腰に負担がかからないよう重量物を取り扱う際の適切な姿勢や動作をしてください。
4. 分解、修理、改造を行わないでください。付属部品を外した状態でのご使用も、重大な事故の発生に繋がる恐れがありますのでおやめください。

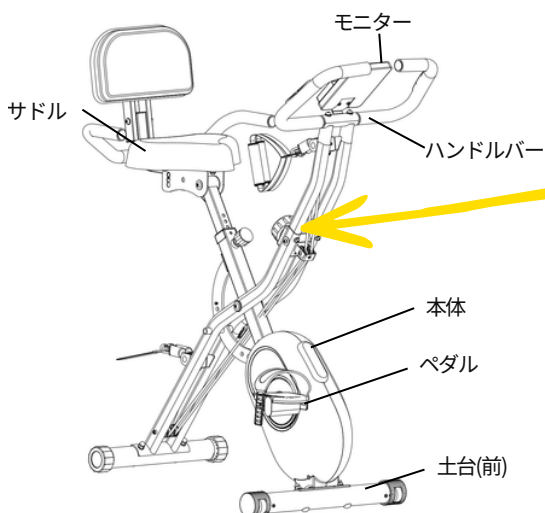
ご使用前に必ずご確認ください

ご使用いただく前に、ガタつき、グラつき、軋み音がないかどうか必ず確認してください。不具合がある場合は、以下をご確認ください。

- ・ いずれかのボルトやナットが緩んでいる場合があります。付属の工具を使用し、締め直してください。
- ・ **調節ノブが調節穴に噛み合っているか確認し、緩んでいる場合は時計回りに回して固定してください。**

製品の仕様について

サドルの高さ調節	7段階	耐荷重	最大120kg
負荷調節	16段階	連続使用時間	最大120分
製品重量	約20kg		



負荷調節ノブを回して負荷を16段階に調節できます。左に回すと負荷が軽く、右に回すと負荷が重くなります。ご自身の体力に合わせて負荷を調節してください。

お手入れの方法

- 本体についた汚れやほこりは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めて拭き取ってください。
- 汗が付着したままの状態が続くと、錆の原因となります。使用後は汗がかかった箇所を拭き取るようにしてください。

組立て前の注意事項

本製品では一部に樹脂ナットを使用します。どの工程でも樹脂部分を外側にして挿し込み、樹脂が貫通するまで固定してください。



梱包部品一覧表

1. 梱包を開けましたら、組立てを行う前に各部品が揃っているかご確認ください。
2. 不足している部品がある場合は、お手数ですがSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。
その際、下記部品名称をお知らせください（連絡先：P23）。
3. 不足している部品がある場合は、部品全てが揃うまでご使用をお控えください。
4. 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1. 本体 	2. 土台（後） 	3. 土台（前）  キャスターが付属しています。	4. 土台用ボルト×4 	5. 土台用ワッシャー×4 
	6. 土台用ナット×4 	7. ペダル（左・右） 	8. サドル 	9. サドル用ワッシャー×3 
10. サドル用ナット×3 	11. 背もたれラック 	12. 調節ノブ 	13. 背もたれハンドルバー 	14. 背もたれハンドルバー用ボルト×2 
15. 背もたれハンドルバー用ワッシャー×4 	16. 背もたれパッド 	17. 背もたれパッド用ボルト×4 	18. 背もたれパッド用ワッシャー×4 	19. 上部フレーム 
20. 上部フレーム用平ワッシャー×2 	21. 上部フレーム用湾曲ワッシャー×2 	22. 上部フレーム用スプリングワッシャー×4 	23. 上部フレーム用ボルト×4 	24. ハンドルバー用湾曲ワッシャー×2 
25. ハンドルバー用スプリングワッシャー×2 	26. ハンドルバー用ボルト×2 	27. ハンドルバー 	28. バンド用ボルト×2 	29. バンド用ナット×2 
30. バンドハンドルグリップ×2 	31. アンクルベルト 	32. モニター 	33. 電池×2 	34. モニター用ボルト×2 
35. 六角レンチ 	36. スパナ(大) (13mm, 15mm) 	37. スパナ(小) (8mm, 10mm) 	38. ペダル用スパナ 	

「※」はお届け時に部品に付属しています。

組立て手順

YouTubeに組立て動画をご用意しています。
QRコードを読み込んでご覧ください。



組立て動画



STEP

01

土台を取り付けます

STEP1で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

1. 本体



(A)

2. 土台 (後)



(B)

3. 土台 (前)



(C)

4. 土台用ボルト



(D)

※

5. 土台用ワッシャー



(E)

※

6. 土台用ナット



(F)

※

36. スパナ(大)



(G)

1

① 本体を箱から取り出します。T字調節ノブを引き、床に広げます。



⚠ T字調節ノブは**回さず、引いてご使用ください**。回すと故障の原因となります。

2

⑧土台（後）、⑨土台（前）のそれぞれに付属している、⑩土台用ボルト⑪土台用ワッシャー、
⑫土台用ナットを、⑬スパナ（13mm）を使用し取り外します。

3

⑭本体の取り付け穴と ⑧土台（後）、⑨土台（前）の取り付け穴をそれぞれ合わせます。
⑨土台（前）はキャスターが外側に位置した状態で本体側に接続します。

4

⑧土台（後）、⑨土台（前）の下から⑩土台用ボルトを通します。上から ⑪土台用ワッシャー、
⑫土台用ナットの順に接続し、⑬スパナ（13mm）で固定します。



⑩土台用ボルトは⑫土台用ナットの浮きがなくなる状態まできつく固定してください。
各部品が緩んでいる場合は、異音やガタつきの原因となる可能性があります。

02

ペダルを取り付けます

STEP2で使用する部品リスト



A



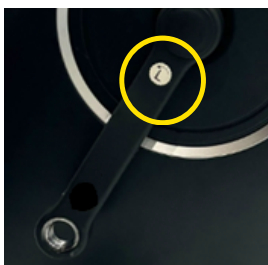
B



C

©

① ④本体、⑤ペダル、⑥ペダルに付属しているペダルベルトには右「R」左「L」の表記があります。
取り付け前にそれぞれ確認してください。



2 ペダルベルトを ⑥ペダルのフックから外し、足の幅に合わせて調節します。取り付ける際はペダルベルトの穴をフックに下から引っ掛け、上に強く引き上げて取り付けます。ペダルベルトの内側と外側のいずれも同様に付けます。



【ペダルベルトを外す】



【取り付ける】

 ペダルベルトは、安全性を考慮した構造上、新品時には硬く、調整しにくく感じられる場合がありますが、不具合ではありません。ご使用に伴い徐々になじむため、安心してご使用ください。

③ペダルに付属している、ペダル用ナットを回転方向を確認し回して取り外します。

! ペダル用ナットを取り外す際は、必ず回転方向をご確認ください。

バイクの前進方向に回すと緩みます。ペダル用ナットが付いている側から見て

【**右ペダルのナット=反時計回り**、**左ペダルのナット=時計回り**】です。

逆方向に回すとさらに固着し、取り外せなくなりますのでご注意ください。



【ペダルナットの取り外し方】

④ペダルを本体に取り付けます。取り付け前に、必ずラベルに記載の回転方向を確認してください。本体に⑧ペダルを挿し込み、ペダル側のナットを③スパナ（15mm）で**バイクの前進方向**に回して取り付けます。次に項目③で取り外したペダル用ナットを接続し、④ペダル用スパナで**後進方向**に回して固定します。



! ⑧ペダルは地面と平行の状態 で本体に挿し込んでください。平行でない場合、クランク部分が摩耗し、⑧ペダルの抜け落ち、連結不良、異音の原因となります。

! ⑧ペダルは回転しなくなるまで十分に固定してください。緩みがあるとガタつき、異音が発生する原因となります。

! ⑧ペダルは長時間の使用や強い踏み込みによって緩む場合があります。ご使用前に緩みが無いか確認し、定期的に締め直してください。

サドルを組立てます

STEP3で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

8. サドル

A



9. サドル用ワッシャー

B



10. サドル用ナット

C



11. 背もたれラック

D



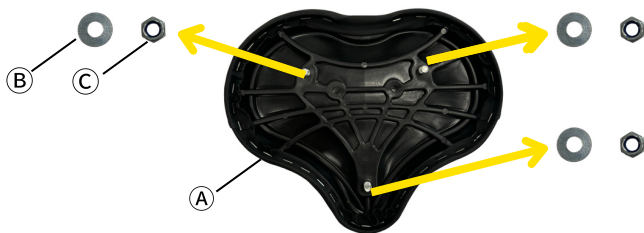
36. スパナ(大)

E



1

① サドルに付属している ② サドル用ワッシャー、③ サドル用ナットを ④ スパナ（13mm）を使用し取り外します。

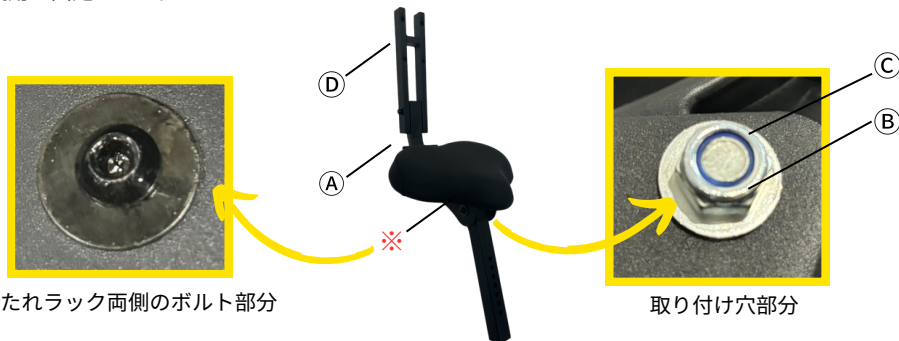


2

② 背もたれラックを開き、① サドル裏と③ 背もたれラックの取り付け穴を合わせます。

3

取り付け穴に② サドル用ワッシャー、③ サドル用ナットの順に挿し込み、④ スパナ（13mm）を使用し固定します。



背もたれラック両側のボルト部分

取り付け穴部分

⚠ サドルがガタつく場合、② サドル用ワッシャー、③ サドル用ナット、④ 背もたれラック両側に付属しているサドル下のボルト（※）が緩んでいる可能性があります。しっかり固定してください。

⚠ サドル用ナットは樹脂部分を外側にして挿し込み、樹脂が貫通するまで固定してください。

本体に背もたれラックを取り付けます

STEP4で使用する部品リスト

1. 本体

A



11. 背もたれラック

B



12. 調節ノブ

C



1

① 本体に③調節ノブを挿し込み、仮留めします。

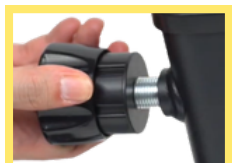
2

② 本体に④背もたれラックを挿し込みます。

サドルの高さを調節する際は、③調節ノブを引っ張りながら④背もたれラックを動かします。サドルに座り、足を乗せたペダルが一番下にあるとき、ひざが完全に伸び切る手前の状態が適切なサドルの高さになります。高さ調節後は③調節ノブを回して固定します。



① 本体の③調節ノブ挿し込み部分



③調節ノブの引っ張り方



高さ調節後は
③調節ノブを回して固定



高さ調節後、③調節ノブは回らなくなるまでしっかりと固定してください。③調節ノブが緩んでいる場合、ガタつきや異音の原因となります。

背もたれラックに背もたれハンドルバーを取り付けます

STEP5で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

11. 背もたれラック

A

13. 背もたれ
ハンドルバー

B

14. 背もたれ
ハンドルバー用ボルト

C



※

15. 背もたれハンドル
バー用ワッシャー

D



※

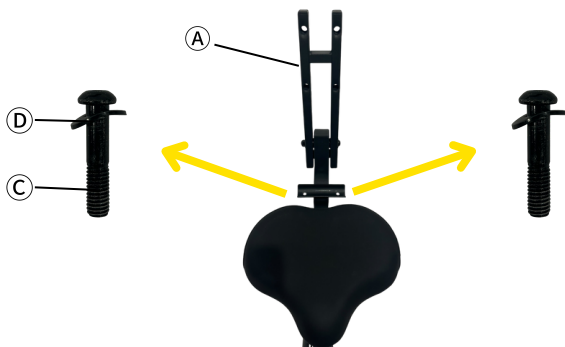
35. 六角レンチ

E



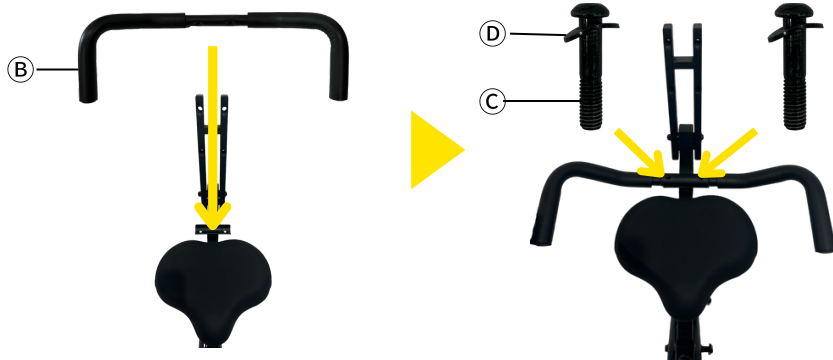
1

① 背もたれラックに付属している、③背もたれハンドルバー用ボルト、④背もたれハンドルバー用ワッシャーを、⑤六角レンチを使用し取り外します。



2

② 背もたれラックと⑥背もたれハンドルバーそれぞれの2つの穴を重ねます。④背もたれハンドルバー用ワッシャー、③背もたれハンドルバー用ボルトの順に取り付け、⑤六角レンチを使用し固定します。



背もたれラックに背もたれパッドを取り付けます

STEP6で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

11. 背もたれラック



16. 背もたれパッド



17. 背もたれパッド用ボルト



※

18. 背もたれパッド用ワッシャー



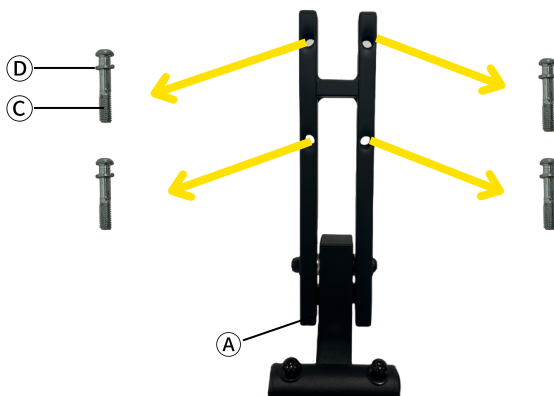
※

35. 六角レンチ



1

① 背もたれラックに付属している、③背もたれパッド用ボルト、④背もたれパッド用ワッシャーを取り外します。

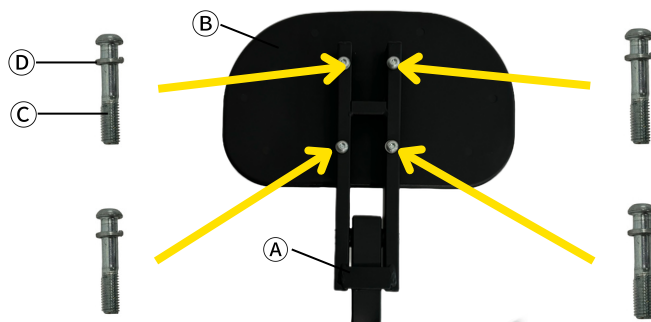


2

② 背もたれラックに ⑥背もたれパッドを重ねます。

3

取り付け穴に④背もたれパッド用ワッシャー、③背もたれパッド用ボルトの順に取り付け、⑤六角レンチを使用し固定します。



07

上部フレームを取り付けます

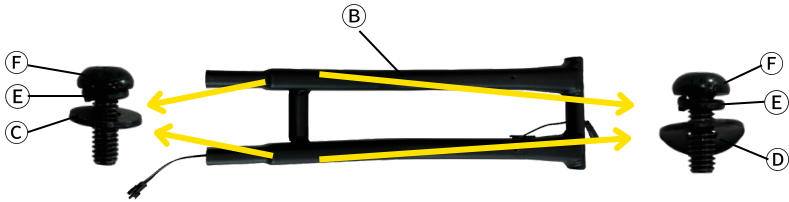
STEP7で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。



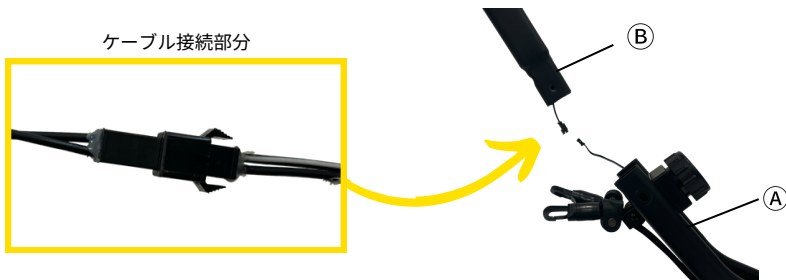
1

③上部フレームに付属している、④上部フレーム平ワッシャー、⑤上部フレーム用湾曲ワッシャー、⑥上部フレーム用スプリングワッシャー、⑦上部フレーム用ボルトを、⑧六角レンチを使用し取り外します。



2

④ 本体の上部と③ 上部フレームの下部から出ているケーブルをそれぞれ引張り出します。
絡まりがないか確認し、カチッと音がするまで挿し込み接続します。

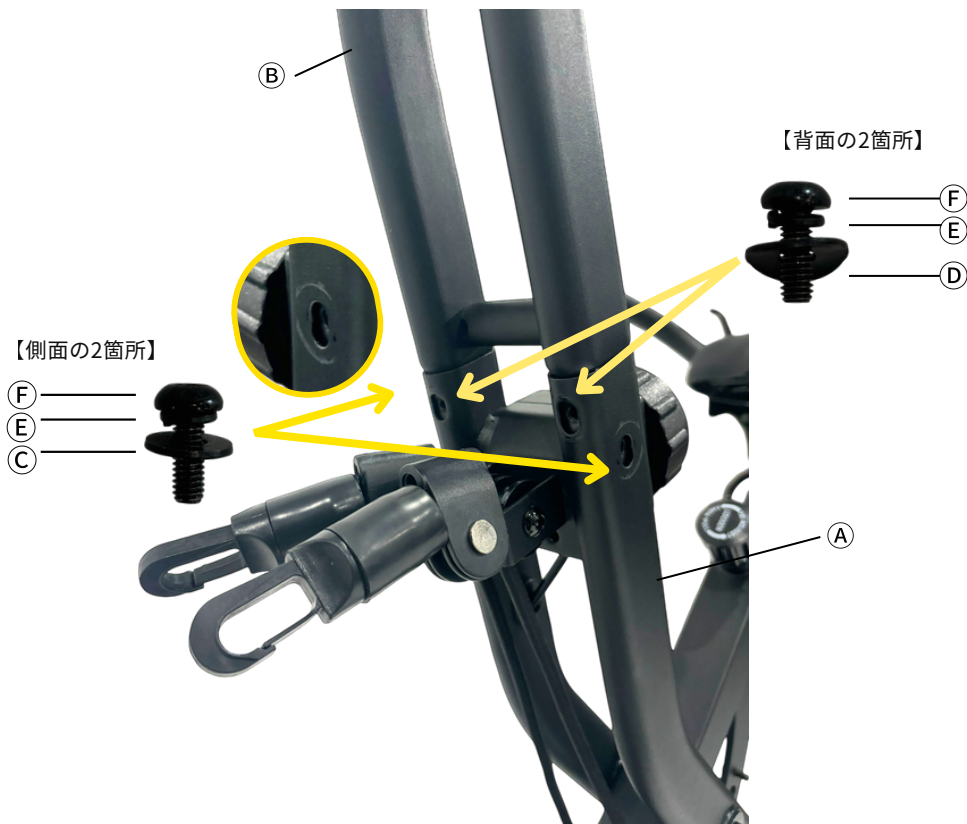


 上部フレーム内部の付属ケーブルは、絡まりを防ぐため、各部品と接続するとびったり合う長さになるように設計されています。取り付け時に短く感じたり、ピンと張った状態になっていても、通常の範囲内ですのでご安心ください。もし取り付けが難しいほど短く感じる場合は、内部で上部フレーム用ボルトにケーブルが絡まっている可能性があります。一度ボルトを取り外し、再度取り付けてください。

①本体に②上部フレームを挿し込みます。

取り付け穴のうち**側面の2箇所**には③上部フレーム用平ワッシャー、④上部フレーム用スプリングワッシャー、⑤上部フレーム用ボルトの順で取り付けます。

背面の2箇所には⑥上部フレーム用湾曲ワッシャー、⑦上部フレーム用スプリングワッシャー、⑧上部フレーム用ボルトの順で取り付けます。それぞれ⑨六角レンチを使用し固定します。



ハンドルバーを取り付けます

STEP8で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

19. 上部フレーム



24. ハンドルバー用 湾曲ワッシャー



25.ハンドルバー用 スプリングワッシャー



26. ハンドルバー用ボルト



27. ハンドルバー

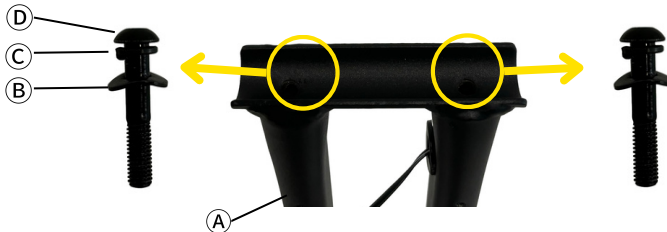


35. 六角レンチ



1

④上部フレームに付属している、⑧ハンドルバー用湾曲ワッシャー、⑨ハンドルバー用スプリングワッシャー、⑩ハンドルバー用ボルトを⑪六角レンチを使用し取り外します。

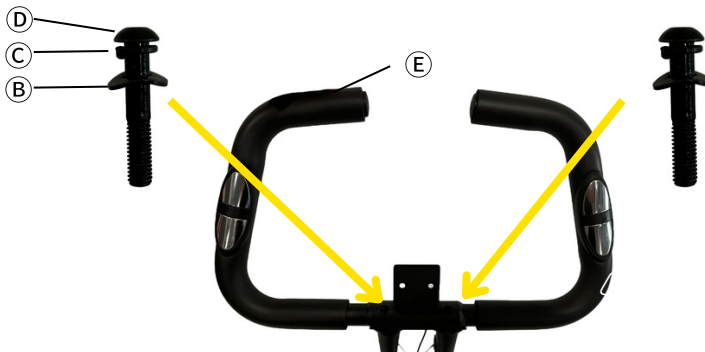


2

部品を取り外した後の④上部フレームの取り付け穴に、⑤ハンドルバーを合わせます。

3

取り付け穴に⑧ハンドルバー用湾曲ワッシャー、⑨ハンドルバー用スプリングワッシャー、⑩ハンドルバー用ボルトの順に重ね、⑪六角レンチを使用し固定します。



STEP9で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

19. 上部フレーム



28. バンド用ボルト



29. バンド用ナット

30. バンドハンドル
グリップ

31. アンクルベルト



35. 六角レンチ



37. スパナ (小)



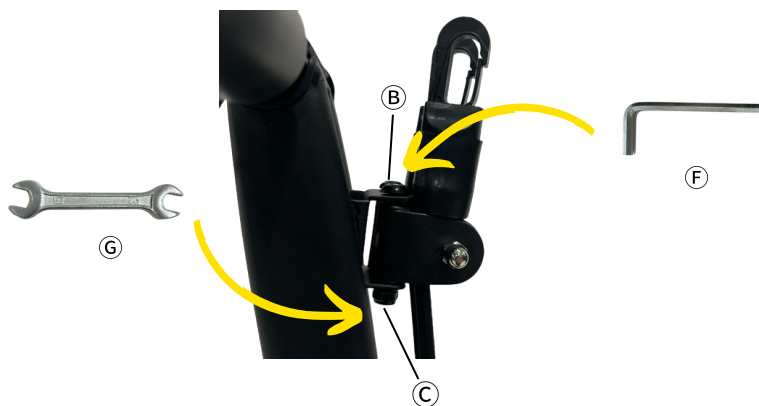
1

本体に接続した④上部フレームに付属している②バンド用ボルト、③バンド用ナットを⑤六角レンチと⑥スパナ(小) (10mm) を使用し取り外します。



2

①で部品を取り外した取り付け穴に、本体に付属しているバンドの取り付け穴を合わせます。
②バンド用ボルト、③バンド用ナットを取り付け、⑤六角レンチと⑥スパナ(小) (10mm) を使用し固定します。



3

バンドのフックに④バンドハンドルグリップを取り付けます。



4

⑤アンクルベルトは本体後部のフックに取り付けます。取り付けるフックの本数でトレーニングの強度を調節可能です。



⚠ 輸送中、本体後方のバンドがローラーから外れている場合があります。ローラーの上に正しく位置しているかご確認ください。



STEP

10

モニターを取り付けます

STEP10で使用する部品リスト

「※」は部品に備え付けられています。

27. ハンドルバー



32. モニター



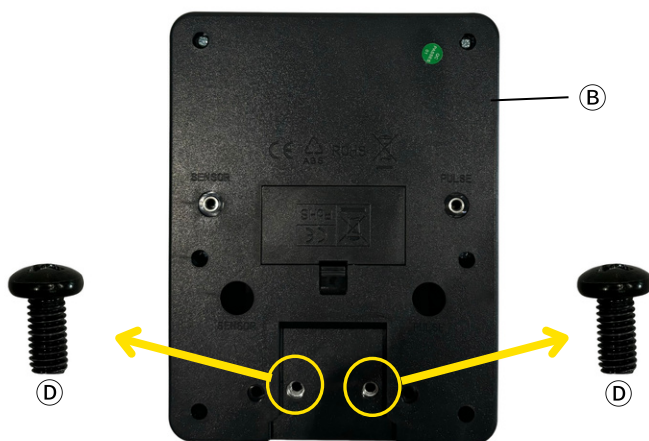
33. 電池×2

34. モニター用
ボルト×2

35. 六角レンチ



- 1 ②モニター裏面の電池蓋を外し③電池（単4電池2本）を入れます。②モニター裏面に付属している④モニター用ボルトを取り外します。

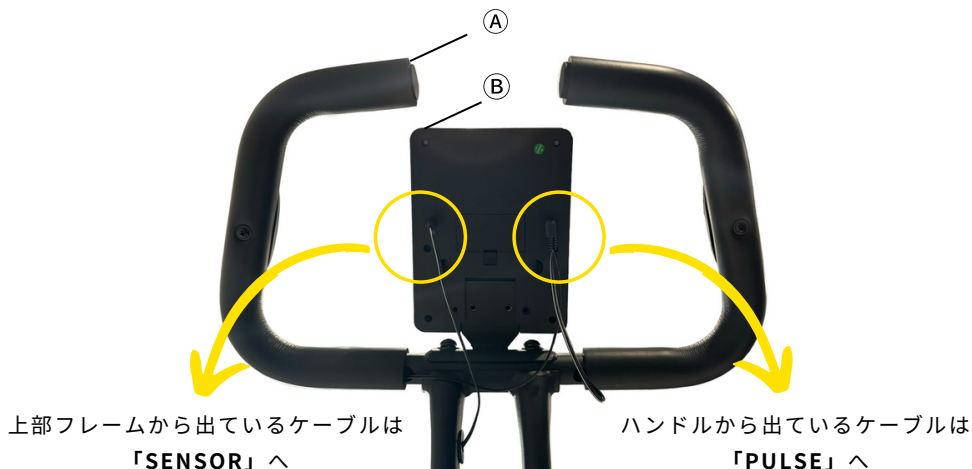


- 2 ①ハンドルバーに②モニターを挿し込みます。裏側から④モニター用ボルトを接続し、⑤六角レンチのドライバー側を使用し固定します。



③モニター裏のケーブル挿し込み口にケーブルを接続します。ハンドルから出ているケーブルは「PULSE」へ、上部フレームから出ているケーブルは「SENSOR」に挿し込みます。

ケーブルが長く余っている場合は、④ハンドルバーと上部フレームそれぞれの内側に入れ込んで収納してください。



⚠ ケーブルを正しく挿し込んでいない場合、③モニターを正しく表示することができなくなります。

移動方法

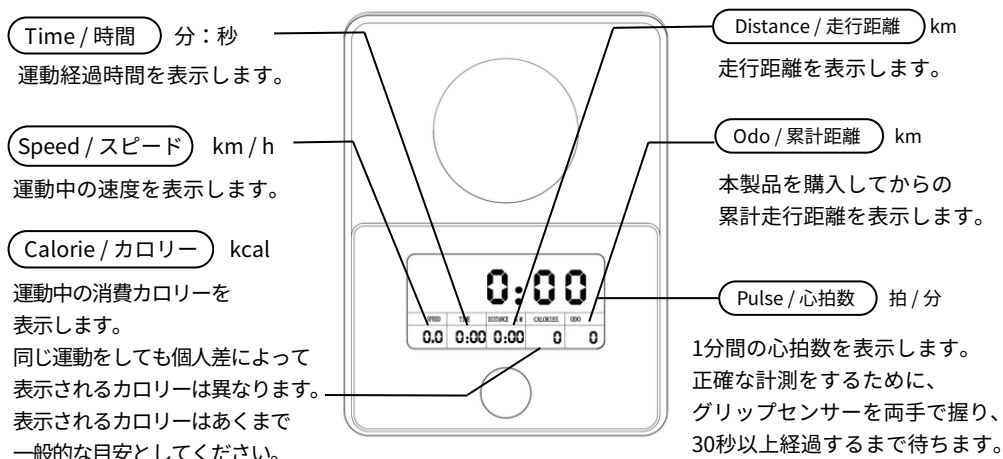
ハンドル先端部分を握り、本体を床に向かって押し下げます。土台（前）のキャスターが床に接触している状態で移動させることができます。柔らかいキャスターを使用しておりますが、床の素材によっては傷がつく可能性があります。**床を保護するため、必ずマットなどを敷いてご使用ください。**



モニターの操作方法

- 本製品のモニターは単4電池を2本使用します。モニター裏面の電池蓋を開けて電池を入れてください。
- お届け時、モニターの画面には保護シールが貼られています。剥がしてからご使用ください。

表示と機能



使用開始と停止方法

- ボタンを押す、または運動を始めると自動的に表示を開始します。
- 運動を中止して約4分が経過すると自動的に表示が消えます。
- 表示が消えてもカウントはリセットされません。

画面の表示

- OdoとPulseは画面上に交互に表示されます。
- 表示モニターのカロリー計算は「1km=32kcal」として計算しています。
- ボタンを押すと、画面上部にメインで表示される項目を選択できます。
- それぞれの項目で表示される数値はあくまで目安となります。実際の数値と差異が発生する場合があります。ことをあらかじめご了承ください。

リセット方法

ボタンを約3秒長押しすると、全ての項目がリセットされます。

各部分の調節方法

1. サドルの高さ調節（7段階）

調節ノブを引き、本体に空いた穴の位置に合わせてサドルの高さを上下に動かします。サドルに座り、足を乗せたペダルが一番下にあるとき、ひざが完全に伸び切る手前の状態が適切なサドルの高さになります。サドルの高さ調節後、調節ノブを回して固定します。



調節ノブを引っ張りながら
サドルの高さを調節



高さ調節後は
調節ノブを回して固定

2. サドルの角度調節（3段階）

サドル下の角度調節ノブを手前に引き、サドルを動かします。角度調節後、サドルに角度調節ノブの先端が完全に固定されているかご確認ください。

⚠ 角度調節ノブは回さず、引いてご使用ください。回すと故障の原因となります。



3. 本体の開き具合の調節

足で土台を踏んで押さえながらT字調節ノブを引き、手でハンドル部分を支え、開き具合を調節します。トレーニング時は3段階、収納時は2段階に調節可能です。



【トレーニング時】



【収納時】

⚠ サドルの高さが一番低い状態の場合、完全に折りたたむことができません。サドルの高さを3段階目ほどまで上げてから折りたたんでください。

よくあるご質問・トラブルシューティング

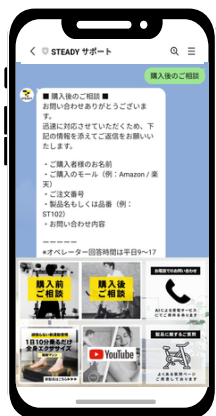
部品が見つからない	一部のボルトやナットは、お届け時にあらかじめ部品に付属しています（参考：P3）。
本体がガタつく	- 土台（後）の足の両端部分を回し、高さを調節してください（参考：P5）。 - 以下の部品が緩んでいる可能性があります。付属の工具を使用し、きつく締め直してください。 - 土台のボルト（参考：P5） - サドル裏のナット（参考：P8） - 背もたれラック両側に付属しているボルト（参考：P8） - サドルの調節ノブ（参考：P9） - 上部フレームのボルト（参考：P13） - ハンドルバーのボルト（参考：P14）
ペダルの取り付けができない	以下をご参考ください。 - ペダルは地面と平行となる状態にして取り付けてください。平行でない場合、クランク部分が摩耗し、ペダルの抜け落ち、連結不良、異音の原因となります。（参考：P7） - ナットの回転方向をご確認ください。 ペダル側のナット＝バイクの前進方向（スパナ / 15mmを使用） ペダル用ナット＝バイクの後進方向（ペダル用スパナを使用）に回してください。（参考：P7）
ペダルがスムーズに回らない	ペダルを逆方向に回転させ、再度お試しください。内部のベルト部分のズレが原因の場合、逆方向に回転することで補正されます。
異音がする	ペダルが緩んでいる可能性があります。スパナを使用し、きつくペダルを締め直してください（参考：P7）。
上部フレームのケーブルが短く感じる	上部フレーム内部の付属ケーブルは、絡まりを防ぐため、各部品と接続するとぴったり合う長さになるように設計されています。取り付け時に短く感じたり、ピンと張った状態になっていても、通常の範囲内ですのでご安心ください。 もし取り付けが難しいほど短く感じる場合は、内部で上部フレーム用ボルトにケーブルが絡まっている可能性があります。一度ボルトを取り外し、再度取り付けてください（参考：P12）。
バンドに違和感がある	バンドがローラーから外れていないか確認してください。

バンドを他の製品に取り替えたい	付け替えはできない仕様となっております。あらかじめご了承ください。
アンクルベルトを使ったトレーニングの強度が物足りない	アンクルベルトの金具に2本のバンドのフックを取り付けると、強度を上げることができます。
モニターの不良	以下をお試しください。 ● 本体のケーブルと上部フレームのケーブルが確実に接続できているかご確認ください（参考：P12）。 ● 電池交換をお試しください（参考：P17）。 ● ケーブルとモニター裏面が正しく接続できているかご確認ください（参考：P18）。
モニターに表示される数値が不正確	本製品は医療機器ではないため、実際の数値とモニターの数値とで差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
モニターの小傷	お届け時にモニターに貼られている保護シールが傷ついている場合があります。剥がしてからご使用ください（参考：P19）。
開封直後から製品に傷がついている	一部製品において、使用上問題がない程度の傷や塗装剥がれが見られることがあります。不良品ではありませんので、返品 / 交換の対象外となります。あらかじめご了承ください。
電話で問い合わせしたい	050-5369-0949までおかけください。受付時間は平日9:00-17:00となります（参考：P23）。

▶ カスタマーサポートへ連絡したい場合

ご不明点やご質問がありましたら、いつでもSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。

LINEでのお問い合わせ



”購入後ご相談”をタップし、
お問い合わせ内容を入力してください。



お問い合わせフォームでのメール送信

お名前、メールアドレス等をご入力の上、
送信ボタンをクリックしてください。



STEADYカスタマーサポート連絡先 & 営業時間

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝日・お盆・年末年始を除く）
050-5369-0949 / support@steadyjapan.zendesk.com

※金曜17:00以降ならびに土日祝日に頂いたお問い合わせは、休業日明けの翌営業日より順次ご返信いたします。回答までお時間を頂戴いたしますが、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

保証期間

- ご購入日より365日間となります。公式LINEからご注文番号のご登録でよりスピーディーなサポートが可能です。
- 保証期間内に取扱説明書に従ってご使用になっていた場合、保証適用外の事項に該当しない場合は無償交換が可能です。
- 保証期間が過ぎた場合は、仕入れが可能な部品に限り有償にて部品交換させていただきます。

LINE公式アカウントに
友だち登録すると

\\安心の1年保証!\\



保証適用外の事項

- 取扱説明書に記載されている組立て方法、使用方法、保管方法、取り扱い方法以外のご使用により不具合や事故が発生した場合
- 仕様の範囲内と判断された場合（駆動音、製造過程で生じる気泡、折れ、細かな汚れ、輸送中の小傷や擦れなど）
- 輸送中に外箱や梱包材が破損した場合でも、製品に不具合が生じていない場合
- 中古品のご購入や公式サイト/公式販売モール以外でご購入した場合（有償での対応は可能）
- ご自身での修理や改造などが見受けられる場合
- 地震、火災、台風、落雷などの天災、薬品、酒、水、石、塩分など、外から受ける要因による不具合や事故が発生した場合
- 未開封、未使用に関わらず保証期間を過ぎた場合

STEADYカスタマーサポートへのお問い合わせ方法

- 不具合が疑われる場合や交換をご希望の場合はSTEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください（参考：P23）。
- お問い合わせの際には、不具合が疑われる箇所の画像もしくは動画を添付してください。

注意事項

- 製品の不具合などによりお客様に生じた機会損失や金銭的損害については弊社では責任を負いかねます。
- 保証期間内の製品で不具合と判断した場合は、基本的に部品交換の対応を取らせていただきます。出張サービスや業者手配による設置、組立て、解体、梱包、修理等は原則対応しておりません。

こんにちは。STEADYカスタマーサポートです。
お客様の声と元に、みなさまの笑顔に
なれるよう努めることが私たちの使命です。
これから一緒に歩んでいけるように。
“STEADY応援係サポーター” 小島 一生

